

第三次船橋市子供の読書活動推進計画報告書
(令和6年度)

令和7年11月

船橋市教育委員会
生涯学習部西図書館

目次

1	第三次船橋市子供の読書活動推進計画の概要	
(1)	計画の趣旨	1
(2)	計画の基本方針と方策	1
(3)	計画の体系図	1
(4)	目標とする数値（第三次計画全体で令和7年度の達成を目標とする数値）	1
(5)	計画の期間	2
(6)	計画の対象	2
2	第三次船橋市子供の読書活動推進計画の評価について	2
3	集計結果	3
4	事業評価一覧表	4

1 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の概要

(1) 計画の趣旨

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、平成21年4月に「船橋市子どもの読書活動推進計画」を、平成26年4月には「第二次船橋市子供の読書活動推進計画（以下、第二次計画）」を策定し、図書館や学校等において子供が自主的に読書に親しむための機会の提供・充実を図ってきました。

令和元年度からは、第二次計画の成果と課題を踏まえた「第三次船橋市子供の読書活動推進計画（以下、第三次計画）」に基づき、「子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことのできる環境づくり」を目的とし、子供が読書習慣を身に付けることができるよう、家庭・地域・学校等が一層力を合わせて読書活動の推進に取り組んでいきます。

(2) 計画の基本方針と方策

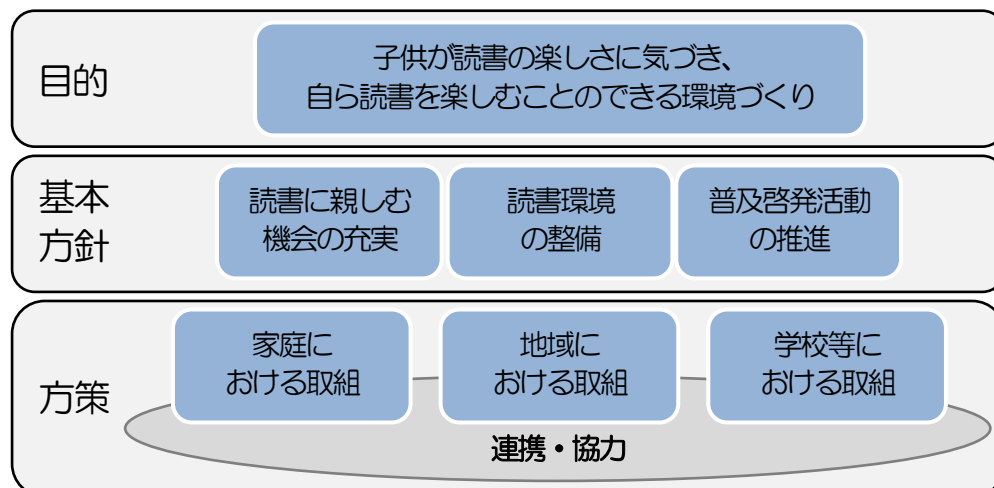
第三次計画の目的を達成するため、次の3つを基本方針とします。

<基本方針>	①読書に親しむ機会の充実 ②読書環境の整備 ③普及啓発活動の推進
--------	--

また、3つの基本方針を推進するため、方策として次の取組を進めます。

<方策>	①家庭における取組 ②地域における取組 ③学校等における取組 【連携・協力】
------	---

(3) 計画の体系図



(4) 目標とする数値（第三次計画全体で令和7年度の達成を目標とする数値）

読書が好きな子供の割合	…	小学生	100%	中学生	100%
1か月に読んだ本が0冊の子供の割合	…	小学生	0%	中学生	0%

(5) 計画の期間

第三次計画の期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間です。

ただし、3～4年を目途に計画の達成状況、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを図ります。

(6) 計画の対象

計画の対象は、おおむね18歳以下の子供とその保護者等（保護者や家族、教職員、ボランティア、行政機関等）です。

2 第三次船橋市子供の読書活動推進計画の評価について

第三次計画では、37の事業に取り組むこととしています。本報告書は、令和5年度における各事業の取組実績や課題認識、今後の取組をまとめたものです。

進捗状況は、船橋市図書館協議会において報告を行います。

本報告書の見方

①「基本方針」「方策」「事業No.」「事業名」「事業概要」「施設」「連携先」

→基本方針・方策ごとに、第三次計画で実施するとしている事業の通し番号・名称・概要、取組を行う施設・連携先を記載しています。

②「指標」「計画策定時の現状値（平成29年度）」「直近の実績」「目標値（令和7年度）」

→各事業の評価指標・実績の経年変化・計画の最終年度の目標値を記載しています。また、最終年度の当初目標値に対する進捗率を併記しています。

③「評価」

→目標値（令和7年度）に対する進捗率を以下の評価基準に照らし、評価を付しています。なお、令和6年度時点では目標値が定まらない事業No.12及び25については、後述する「当年度取組」欄に評価の考え方を記しています。

評価	目標値に対する進捗率
達成できた	100%以上
概ね達成できた	80%以上100%未満
あまり達成できていない	60%以上80%未満
達成できていない	60%未満

④「当年度取組」「現状の課題・今後の取組」

→令和6年度における各事業の取組、課題認識と今後の取組を記載しています。

3 集計結果

令和6年度の現状に対する評価

基本方針		方策	評価			
			達成 できた	概ね達成 できた	あまり 達成でき ていない	達成でき ていない
1	読書に親しむ 機会の充実	1 家庭における取組	0	1	1	0
		2 地域における取組	2	2	1	4
		3 学校等における取組	3	2	0	0
2	読書環境の整 備	2 地域における取組	2	1	0	0
		3 学校等における取組	5	2	0	2
3	普及啓発活動 の推進	1 家庭における取組	2	0	0	2
		2 地域における取組	2	0	1	0
		3 学校等における取組	1	1	0	0
合計			17	9	3	8
割合			45.9%	24.3%	8.1%	21.6%

ここに確定した「4 事業評価一覧表」が入ります

4事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
									《目標値に対する進捗率》							
1		1	ブックスタート事業 (絵本の配布)	できるだけ早い時期に全ての子どもに「絵本」と出会う機会を作り、親子が触れ合い、語り合い、絆を深めることを目的に、保健センターで行われる4か月児健康相談の機会に絵本を配布する。	保健センター	図書館	絵本配布率	93.0% 《97.9%》	77.8% 《81.9%》	79.7% 《83.9%》	85.8% 《90.3%》	86.2% 《90.7%》	95.0%	概ね達成できた	保健センター職員や読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを集団講話時に実施した。絵本と共に資料の配布を行いブックスタートの意義を伝えた。	令和7年度は全センターで職員による読み聞かせを実施する予定。引き続き親子が絵本を通して触れ合い、語り合い、親子の絆を深められ、生涯を通じて読書を楽しむことができるような声掛けを行い、図書館の利用も促していく。
		2	セカンドブック事業	より多くの本と出会う機会を提供するため、1歳6か月児健康診査を受診した子どもに、図書館で絵本を1冊手渡し、来館やおはなし会への参加を促す。	図書館	保健センター	絵本配布率	53.9% 《77.0%》	52.1% 《74.4%》	45.4% 《64.9%》	44.7% 《63.9%》	43.4% 《62.0%》	70.0%	あまり達成できていない	事業を広く周知するため、船橋インフォメーションセンターにおけるデジタルサイネージの放映、チラシ配布を開始した。また、新たな包括連携協定事業者におけるチラシ配布を行った。	配付率の低下については、施設の改修工事等により北図書館及び新高根公民館図書室が利用できなかったことが、要因の一つと考えられる。令和7年4月から東部公民館図書コーナーが開室し、セカンドブックの配付を新たに開始した。主要駅に近く利便性の良い施設のため、配付率の増加が見込まれる。
1		3	公立保育園での保護者への啓発	図書館主催講座のパンフレットやポスターを掲示し、保護者へ情報提供を行う。	公立保育園	図書館	掲示した園数	2園 《7.4%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園) 《100.0%》	27園 (全園)	達成できた	園にポスターを掲示し、保護者への周知を図った。	引き続き取り組んでいく。
		4	児童ホームにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	児童ホーム	図書館	講座の実施館数	4館 《19.0%》	4館 《19.0%》	8館 《38.1%》	12館 《57.1%》	11館 《52.4%》	21館 (全館)	達成できていない	児童ホーム11館で図書館など関係機関と連携して講座を実施した。	施設の改修工事のため長期休館した施設もあり、昨年度と比べ実施館数は減少した。未実施施設に対し、図書館など関係機関と連携して講座を実施するよう再度周知を図る。
3		5	子育て支援センターにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	子育て支援センター	図書館	講座の実施施設数	— —	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設) 《100.0%》	2施設 (全施設)	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて図書館など関係機関と連携して講座を実施し、目標を達成した。	今後も引き続き事業を実施していく。
		6	公民館における講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して読み聞かせのポイントや本の選び方など、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝える講座を実施する。	公民館	図書館	講座の実施館数	7館 《26.9%》	4館 《15.4%》	2館 《7.7%》	3館 《11.5%》	3館 《11.5%》	26館 (全館)	達成できていない	絵本の読み聞かせ(海神公民館)やブックスタートの紹介(葛飾公民館)、読み聞かせボランティアの研修会(松が丘公民館)などそれぞれ実施した。	各公民館の地域課題に対応するための講座が年々増え、年間で開催できる講座数も限られることから、読み聞かせ講座等の実施館が3館にとどまっている。また、講座の参加者数が減少しているため、若い世代へのPR方法の検討やスマート申請の積極的活用を図る。本事業の重要性を改めて全館で共有し、講座の実現に繋げていきたい。

4事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組	
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
1	2	7	保護者や読み聞かせグループ等への啓発	読み聞かせ初心者の方に向け、図書館主催で読み聞かせの方法等についての講座を開催する。	図書館	—	講座の実施回数	—	7回	7回	7回	7回	8回	概ね達成できた	各図書館で読み聞かせ初心者の方や保護者向けに、入門講座を開催することができた。	今後も継続的に講座を開催し、目標である回数を実施できるよう工夫していく。	
		8	保護者や読み聞かせグループ等への啓発（講師派遣）	読書の重要性や読み聞かせの方法を伝えるため、まちづくり出前講座や各施設の講座に講師派遣を行う。	図書館	公民館等	講師派遣回数	6回	1回	11回	23回	28回	10回	達成できた	公民館・児童ホーム・保育園等、様々な施設からの講師派遣依頼があり、目標値を達成することができた。	今後も各施設と連携し、読み聞かせグループ等と情報共有しながら、子供に関わる大人を対象とした読み聞かせ講座等を行っていく。	
		9	10代の利用者向け事業の実施	10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施する。	図書館	—	10代の利用者向け事業の開催回数	1回	5回	6回	4回	6回	8回	あまり達成できていない	将来を決めるために役立つような職業に関する講座や学校と連携した企画展示を開催した。夏休みには、身近な材料からDNAを取り出して観察する科学実験講座を開催した。また、西図書館・中央図書館でYAボランティアの募集を行い、おすすめ本のPOP作成や事業の企画等の会議を行った。	当初目標値に向けて引き続き企画を進めていく。YAボランティアとも協力しながら、10代の利用者が興味・関心のある講座・企画等を開催していく。	
	2	10	YAコーナーを活用した交流の場の提供	10代の利用者によるおすすめ本の紹介コーナーを設置する等、利用者同士が読書を通じて交流していく場を提供する。	図書館	—	参加人数	—	277人	238人	181人	476人	200人	達成できた	「修学旅行で行きたいところ」「目標にしたい人」等の身近なテーマを設定したところ、多くの投稿が寄せられ目標値を大きく上回った。	引き続き事業を実施していく。令和7年度以降は、令和6年度に西図書館と中央図書館で発足した13～20歳で構成する「YAボランティア」を中軸とした新規事業を計画・実施し、10代が興味を持って図書館を利用するきっかけとなるような環境づくりや居場所づくりを行っていく。	
		11	外国語の図書の充実	日本語以外の言葉を母国語とする子供向けの図書等の充実を図る。	図書館	—	外国語の図書の蔵書数	1,529冊	2,104冊	2,119冊	2,215冊	2,341冊	2,240冊	達成できた	計画的に資料を購入したことで、目標値を達成することができた。	外国語の本に親しんでもらえるよう、今後も継続して資料を購入していく。	
	2	2	12	ハンディキャップサービスの充実	多様な支援を必要とする子供のための図書等（点字絵本・LLブック等）の充実を図る。	図書館	—	点字絵本の所蔵状況	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	前年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす。	達成できた	令和6年度の点字絵本の所蔵数は131冊、LLブックの所蔵数は157冊であり、令和5年度と比較して点字絵本は19冊、LLブックは13冊増加した。	今後も多様な支援を必要とする子供のために所蔵数を増やしていく。
								LLブックの所蔵状況	有2館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	有4館 (全館)	前年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす。			

4事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組			
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
									《目標値に対する進捗率》										
3		13	YAだよりの配布	10代の利用者向けに「YAだよりの」等で情報発信を行う。	図書館	—	発行回数	1回 《25.0%》 ※当初目標値4回	10回 《250.0%》 ※当初目標値4回	10回 《250.0%》 ※当初目標値4回	10回 《100.0%》	10回 《100.0%》	10回	達成できた	西図書館で4回、東図書館で6回発行した。	引き続き事業を実施していく。令和7年度以降は、令和6年度に西図書館と中央図書館で発足した13～20歳で構成する「YAボランティア」を中軸とした新規事業を計画・実施し、10世代がより興味を持てるよう、情報発信を行っていく。			
			2	14	児童ホームでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全館)	児童ホーム	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	1,456回 《85.6%》	683回 《40.2%》	1,233回 《72.5%》	829回 《48.8%》	869回 《51.1%》	1,700回	達成できていない	各児童ホームにおいて、おはなし会イベントや事業の中で絵本の読み聞かせ活動を実施した。	施設により実施回数に差があるため、回数の少ない施設へ事業の中で積極的に読み聞かせ活動を実施するよう周知を図る。	
					15	子育て支援センターでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全センター)	子育て支援センター	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	24回 《85.7%》 ※当初目標値28回	23回 《82.1%》 ※当初目標値28回	469回 《1675.0%》 ※当初目標値28回	449回 《89.8%》	453回 《90.6%》	500回	概ね達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにおいて、おはなし会イベントや事業の中で絵本の読み聞かせ活動を実施した。	今後も引き続き事業を実施していく。
						1	16	公民館におけるおはなし会の実施	幼児や児童を対象とした読み聞かせ、わらべうた、手遊び等を行い、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供する。	公民館	地域文庫・ボランティア等	実施館数	13館 《50.0%》	12館 《46.2%》	11館 《42.3%》	13館 《50.0%》	15館 《57.7%》	26館(全館)	達成できていない
17	公民館における読書感想文講座の実施	読書の習慣がない小学生を対象に読書感想文の書き方講座を実施する。	公民館	—	実施館数			3館 《11.5%》	8館 《30.8%》	9館 《34.6%》	10館 《38.5%》	9館 《34.6%》	26館(全館)	達成できていない	文章表現への苦手意識の克服と表現力の向上を目的に、文章校正や表現方法を学ぶ講座を実施した。学校の先生に講師を依頼している場合、講師の転勤や部署異動により実施が困難となり、実施館数が1減となった。	未実施の館については、数ある地域課題へ向けた講座との調整を図り実施に繋げていきたい。			

4事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
									《目標値に対する進捗率》							
1	2	18	講座等を通じた子供が本に触れる機会の提供	公民館で行われる子供や親子向けの講座等において、講座に関連した図書を紹介し、遊ぶ・作るなどの体験と読書を結び付け、読書の楽しさや関心を持つ機会を提供する。	公民館	図書館	実施館数	—	0館	1館	0館	1館	26館 (全館)	達成できていない	読み聞かせの講座実施時に多くの図書を持参し本に触れる機会とした。公民館の地域課題に対応するための講座が年々増え、年間で実施できる講座数も限られることから、今年度の実施館は1館となった。	今後は、事業担当者会議などで情報の共有を図り、実施館数を増やしていきたい。
		19	放課後ルームの図書の購入	図書館の団体貸出を利用しているものの、蔵書数が少ないとの声があるため、新たに図書を購入し、蔵書の充実を図る。	放課後ルーム	—	新たに図書を購入する冊数	—	2,133冊	2,695冊	3,478冊	4,202冊	4,500冊	概ね達成できた	令和7年度目標達成にむけて計画的に図書の購入を行っている。	当初目標を達成したため、令和5年度に目標値の見直しを行い、令和7年度に向けて、計画的に図書の購入を行い、充実を図っていく。
3	2	20	児童ホームでの「子ども読書の日」等にちなんだ普及啓発の推進	「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ、本に関連した事業の実施を図る。	児童ホーム	—	読み聞かせ活動等の実施館数	7館	15館	15館	15館	14館	21館 (全館)	あまり達成できていない	読書週間中の読み聞かせ活動などを約7割の児童ホームで実施した。	事業を実施していない館があるため、今後は全館で実施していくよう各施設への周知を強化する。
		21	子育て支援センターでの「子ども読書の日」等にちなんだ普及啓発の推進	「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ本に関連した事業の実施を図る。	子育て支援センター	—	読み聞かせ活動等の実施施設数	2施設 (全施設)	2施設 (全施設)	2施設 (全施設)	2施設 (全施設)	2施設 (全施設)	2施設 (全施設)	2施設 (全施設)	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて講座を実施し、目標値を達成した。
2	3	22	公立保育園職員の絵本に関する技術向上	職員の技術向上のため、図書館職員による絵本やお話の講座に参加する。	公立保育園	図書館	参加園数	—	0園	0園	0園	9園	27園 (全園)	達成できていない	新型コロナウイルスによる影響がなくなり、徐々に当該講座に参加する園が増えた。また、図書館職員による出張講座も行った。	引き続き取り組んでいく。
1		23	学校図書館運営計画の作成	読書年間指導計画や学校図書館運営計画を作成し、図書主任を中心として、全教職員が共通理解のもと連携・協力して児童生徒の読書指導を進める。	小・中・特別支援学校	—	学校図書館運営計画を作成している学校数	82校 (全校)	83校 (全校)	83校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	達成できた	各学校に学校図書館の年間学習計画の作成を啓発した。
	24	「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施	読書習慣を身に付けさせるため「朝読書」や「読み聞かせ」等を、各学校の実情に合わせて取り組む。	小・中・特別支援学校	—	朝読書、読み聞かせ等を実施している学校数	82校 (全校)	77校	81校	79校	79校	82校 (全校)	82校 (全校)	概ね達成できた	「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施について、各校に啓発を行っているが、100%を達成することができなかった。	新規の学校司書も増えているため、実施方法や各校の実態に合った取り組み方について、研修会等を通じて指導していく。

4事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
1	3	25	読書習慣の形成	卒業までに一定量の読書を推奨する等、学校や家庭における読書習慣が身に付くよう促す。	小・中学校	—	児童生徒総貸出冊数	3,689,527冊 ※目標冊数 3,600,000冊	3,731,833冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,872,185冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,700,563冊 ※目標冊数 4,000,000冊	3,818,879冊 ※目標冊数 4,000,000冊	4,000,000冊 ※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	概ね達成できた	貸出総数は令和5年度より、約12万冊増加したが、100%を達成することができなかった。子供たちの学習・生活環境が変化していることもあり、研修会等を通じて各校に利活用の推進について啓発した。	各校の取組や一人一台端末と学校図書館、双方の良さを生かした活用方法を共有することで、令和7年度も400万冊を目標に読書量の向上を啓発していく。
								《102.5%》	《93.3%》	《96.8%》	《92.5%》	《95.5%》				
		26	読書意欲を高める取組の実施	ポップづくりやブックトーク、ピブリオバトル等、児童生徒が相互に図書を紹介する活動や、読書意欲を高める取組を行う。	小・中学校	—	取組を実施している学校数	80校	80校	81校	81校 (全校)	81校 (全校)	81校 (全校)	81校 (全校)	達成できた	ICTの活用など、読書意欲向上を目指し、各校が積極的に取り組んでいた。
27	大穴小学校市民図書室おはなし会の実施	地域のボランティア団体と連携し、市民図書室内で絵本の読み聞かせ等を行うおはなし会を実施する。	市民図書室	ボランティア	おはなし会の年実施回数	44回 《52.4%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	56回 《66.7%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	60回 《71.4%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	4回 《100.0%》	4回 《100.0%》	4回 おはなし会の年実施回数	達成できた	計画通り事業を実施することができた。	引き続き事業を実施していく。		
2	3	28	学校図書館の蔵書の管理	定期的に蔵書点検を行い、新しい本と使用に耐えない本との入れ替えを図りながら、「学校図書館図書標準」(文部科学省)で定める基準冊数を維持できるように学校図書館の蔵書を管理する。	小・中・特別支援学校	—	「学校図書館図書標準」基準冊数を達成している学校数	82校 (全校)	83校 (全校)	83校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	達成できた	令和6年度、全ての小中特別支援学校で学校図書館図書標準を達成することができた。	令和7年度以降も100%を切ることがないように廃棄冊数を管理し、学校図書標準の維持に努める。
		29	学校図書館資料の充実	子供たちが幅広いジャンルから本を選び、多くの図書に触れる機会がもてるよう、図書主任や司書教諭、学校司書を中心に学校図書館資料の充実を図る。	小・中・特別支援学校	—	図書選定委員を組織している学校数	72校	49校	66校	68校	73校	82校 (全校)	概ね達成できた	選書・廃棄の図書の選定について組織化されている学校が増えている。しかし、依然として学校司書に任せ、図書主任等には報告だけになっている学校もある。	図書の選書や廃棄を、管理職を含め組織的に行うよう、研修会等を通して、今後も啓発していく。
		30	特設コーナーの設置	総合的な学習の時間や教科等の授業で学んでいる内容の本や、季節ごとの行事に関する本などを集めた「特設コーナー」の設置を行う。	小・中・特別支援学校	—	特設コーナーを設置している学校数	75校	82校	82校	82校 (全校)	82校 (全校)	82校 (全校)	達成できた	全小中特別支援学校の学校図書館で、学校司書が創意工夫した特設コーナーが設置されている。	他校の学校図書館を見学する研修や報告書等により、引き続き各校のアイデアを共有できるようにしていく。

4事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組	
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
									《目標値に対する進捗率》								
2	3	31	障害のある児童生徒への読書環境の整備	LLブックや点字本等、発達に応じた図書資料の整備を行う。	小・中・特別支援学校	—	発達に応じた図書資料を所蔵している学校数	72校 《87.8%》	72校 《87.8%》	78校 《95.1%》	77校 《93.9%》	80校 《97.6%》	82校(全校)	概ね達成できた	障害のある児童生徒が在籍するか否かで、発達に応じた図書資料の整備状況が異なっている。	引き続き、各学校に障害者の読書環境整備を啓発していく。	
		32	図書物流の活用	図書館と学校図書館、各学校図書館の間で、図書相互貸借のための図書物流の活用を図るとともに、図書館と学校図書館の横断検索等により、図書館活用の幅を広げる。	小・中・特別支援学校	図書館	図書物流を利用した学校数	82校(全校) 《100.0%》	83校(全校) 《101.2%》	83校(全校) 《101.2%》	82校(全校) 《100.0%》	82校(全校) 《100.0%》	82校(全校)	達成できた	令和6年度は全小中特別支援学校が図書物流を利用することができた。総物流件数は17,214件だった。	令和7年度は年間36回実施し、公立図書館と連携しながら、学校図書館活用を推進していく。	
		33	図書主任、学校司書の資質向上	児童生徒の自主的な読書活動を推進していくために、図書主任、学校司書の研修の機会を設け、教職員等の資質向上に努める。	小・中・特別支援学校	—	図書主任の研修会の件数	3件 《100.0%》	3件 《100.0%》	3件 《100.0%》	3件 《100.0%》	3件 《100.0%》	3件	達成できた	全ての研修会を実施することができた。2月の研修会は、講師を招き、「学校図書館の展示・魅せ方」について講演を行った。	各校の要望をもとに他校の学校図書館見学、学校司書と図書主任の連携等についての研修を充実させ、学校司書・図書主任等の資質向上を図っていく。	
								学校司書の研修会の件数	4件 《100.0%》	3件 《75.0%》	4件 《100.0%》	4件 《100.0%》	4件 《100.0%》				4件
								内、合同研修	小中各1件 《100.0%》	小中各1件 《100.0%》	小中各1件 《100.0%》	小中各1件 《100.0%》	小中各1件 《100.0%》				小中各1件
34	ボランティアとの連携	ボランティアとの連携を図り、学校図書館の環境づくりや児童生徒への読み聞かせ等を行う。	小・中学校	地域文庫・ボランティア等	ボランティアを導入している学校数	47校 《58.0%》	30校 《37.0%》	38校 《46.9%》	40校 《49.4%》	40校 《49.4%》	81校(全校)	達成できていない	外部人材を招いている学校数は令和5年度から増減なく、横這いであった。	各校の実践を共有することで、実情に合わせた取り組みを推進していく。			
35	市民図書室の蔵書の充実	地域住民の生涯学習の振興に資するため、市民図書室の蔵書の充実を図る。	市民図書室	—	全体の蔵書数	35,036冊 《96.8%》 ※高根小学校と大穴小学校の2校で計算	25,670冊 《70.9%》	26,844冊 《74.2%》	27,907冊 《103.4%》	28,776冊 《106.6%》	27,000冊	達成できた	【大穴小学校市民図書室】利用傾向に合った新刊書やリクエスト資料を購入した。 【高根小学校市民図書室】定期的な図書の購入により、継続して蔵書の充実を図った。	継続して蔵書の充実を図っていく。			
3	36	「子ども読書の日」等における啓発	「子ども読書の日」や「読書週間」に関連した取組を行う。	小・中学校	—	取組を実施している学校数	77校 《95.1%》	79校 《97.5%》	79校 《97.5%》	81校(全校) 《100.0%》	80校 《98.8%》	81校(全校)	概ね達成できた	小学校は55校、中学校では25校で、読書祭り等の活動を実施した。令和5年度よりも、1校減ではあるものの、依然として読書活動の推進に向けた意識は高い。1校減の理由としては、新たな図書担当者への引継ぎに漏れがあったために実施に至らなかった。	引き続き、各校の実情に合わせた方法を推進していく。		

4 事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の 現状値 (平成29年度)	直近の実績				目標値 (令和7年度)	評価	当年度取組 (令和6年度)	現状の課題・今後の取組
									令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
									《目標値に対する進捗率》							
3	3	37	図書館便り・学校ホームページ等による情報の発信	学校便りや図書館便り、学校ホームページ等で図書に関する情報を発信する。	小・中・特別支援学校	—	情報を発信している学校数	80校 《 97.6% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	83校 (全校) 《 101.2% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	達成 できた	全小・中・特別支援学校において、図書館だよりを発行し、情報発信を行っている。	引き続き、図書館だより等、情報の発信について働きかけていくとともに、ICTを活用した情報発信についても情報を共有していく。